

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

# 会報いずみ 第53号

発行／いずみ会 編集／いずみ会広報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内

事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号

ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail [izumikai@v7.com](mailto:izumikai@v7.com)

## 主な記事

- 2・3 執行部関係・役員改選
- 4～6 母校
- 7 恩師近況
- 8・9 緑蔭
- 10～13 会員・同期会
- 14・15 会費納入者・寄付者一覧
- 16 総会ご案内

## 母校の発展のために

いずみ会会長  
早川 淳

昭和16年府立第20中学校として創立され、その後都立大泉高校、そして少子高齢化や社会情勢の変化に伴い、教育環境も大きく変化し、平成22年には中高一貫教育校となります。

いずみ会規約第3条の「会の目的」である会員相互の親睦は、サークル活動も年々活発になってきています。もう一つの柱である母校の発展に寄与するため、いずみ会会員が講師となり、キャリア教育を実施したり、部活動の支援も行ってきましたが、まだまだ不十分です。今後は更に充実させていきたいと考えております。

会員の皆さんには、それぞれの分野で培った豊富な経験・知識・技能を、現役・リタイヤ組に拘わらず人材バンクに登録して頂き、母校支援やいずみ会の為に役立てて頂きたい。

母校ホームページに、先日実施したキャリア教育の様子が載っていますが、後輩にしてあげられる支援のひとつです。母校生徒向け、会員向け、一般向けまで講演や講座など出来るようになれば、いずみ会としての活動の幅が広がります。

いずみ会の活動はボランティアによって支えられています。故マイケル・ジャクソンはチャリティーコンサートをしたり、慈善財団を作り社会に貢献しました。日本でも、阪神淡路大震災を機に、盛んにボランティア活動が行われるようになりましたが、まだまだ定着の域には達していません。当会会員は「いずみ会活動」への参加、協力することが、母校の発展・社会に貢献するものと信じます。

1時間でも、1日でも、一人でも多くの参加、協力をお願いします。

## 大泉高校の方針と いずみ会に望むこと

大泉高校校長  
菊地 芳男

平素より、都立大泉高校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

今年度、大泉高校では、学校経営計画に学力の定着を図ることを明記し、各教科・各先生方に取り組んでいただいています。このことは、生徒の希望進路を実現したいことから計画の柱としたものです。本校の生徒の多くが、国公立大学を志望していますが、現状は十分な結果を残しておりません。授業の中での小テストによる定着や、生徒自らが自分のウイークポイントを把握して、克服することが重要であると考えております。

今年度7月には、保護者を対象とした進路説明会を初めて実施し、家庭と学校が共通した認識をもって、進路のことを考えていくことを始めました。

また、進路指導は、進学指導だけに終始してはならないと考えております。自己が携わる将来の職業について考え、明確な目標を持つことにより、自発的に勉強や部活動に取り組むことが可能となるものと考えています。

今年の3月19日に、キャリアガイダンスの一環として計画いたしました社会人講話につきまして、「いずみ会の人材バンク」から多数の講師の方々を派遣していただき、実施することが出来ました。さまざまな分野で、現在活躍されている同窓生の皆様の講話は、身近で具体的であり、生徒にとって自己の将来を考えるうえで、大変参考になったものと確信しております。

是非今後とも、いずみ会の人材バンクから、多くの講師の方においで頂き、ご支援をいただければ幸いです。



母校新校舎完成予想図

## 本年度

いずみ会総会・懇親会 (於 母校円形校舎・練馬区立勤労福祉会館)  
10月25日(日) 午後1時より受付開始 (詳細は16頁をご覧ください)

# 定時評議員会報告

総務・企画部長 國谷 俊之(高校14期)

平成21年6月6日(土) 13時より母校・円形校舎1階食堂にて、平成21年度定時評議員会が開催されました。評議員98名(他に委任状提出者286名)が出席しました。

司会の國谷俊之総務企画部長(高14期)から開会が宣せられ、議事に先立ち早川淳会長が挨拶をしました。

次にいずみ会最高顧問の菊地芳男校長先生のご挨拶があり現在の高校生は勉強や部活動にも力をつけて実面に伸びている。来年度から始まる中高一貫校については、中高一貫校の校名は大泉の名前を残したいと教育庁に希望し、本校のような併設型中高一貫校では大泉高校附属中学の名前と大泉高校の名前で進むと考えている。

校歌、校友の歌は現在の校歌、校友の歌を継承すると決定し、校章については校名が決まらなと決定できないが中学校と高校が兼ねて使えるような大泉の名前を入れた桜のデザインを考え、桜並木に関しては今年1月に残すと説明しましたが5月に本校の110本の桜について一本一本、樹木医に見てもらい調査しカルテをつくり、残せるものは残していきたいと考えているとお話された。

議長は大申康夫評議員(高校14期)を選出し、引き続き議事録署名人として、嶋正彦評議員(高校5期)相川光夫評議員(高校12期)が選出されて議事に入りました。

**【審議事項】**

第1号議案 平成20年度事業報告及び収支決算承認の件(大高光蔵事務局長及び片山隆會計部長が趣旨説明)は賛成多数で承認されました。

第2号議案 平成21年度事業計画及び予算承認の件(大高光蔵事務局長及び片山隆會計部長が趣旨説明)は賛成多数で承認されました。

第3号議案 平成21年度事業計画及び予算承認の件(大高光蔵事務局長及び片山隆會計部長が趣旨説明)は賛成多数で承認されました。

第4号議案 平成21年度事業計画及び予算承認の件(大高光蔵事務局長及び片山隆會計部長が趣旨説明)は賛成多数で承認されました。

の件(大高光蔵事務局長及び片山隆會計部長が趣旨説明)は賛成多数で承認されました。

## 【報告事項】

1. 総務・企画部(國谷俊之部長)

1) 毎年評議員の見直し登録をしているが今年も約3分の1以上の期でとり纏め役が不在であり、今年はそれらの期に関しては各評議員に評議員の同意・不同意等の項目をハガキに追加印刷し送付し評議員の自覚を促した。

2) 人材バンクサークル活動はいずみ会活性化の中核として年齢やしがらみにとらわれないサークルです。多くの皆様の参加をお待ちしております。

2. 広報部(須藤一彦部長)

1) 昨年から会報の文字を大きくしたが大きくなるとページ数が増え、費用がかかることになりませんが、評議員の皆様のご意見をお聞きかせください。

2) 会報の内容、編集のお手伝い、会報に広告を載せる事は是非など評議員の皆様のご意見をお寄せください。

3. 会員情報部(村上 広部長)

1) 例年、約300名程度の住所不明会員の住所が同期会の開催等によって判明している。

2) 昨年度は8の会活躍、盛り上がりで約800名の住所不明会員の住所が判りました。今年も9の会の盛り上がりを期待しています。

4. 会計部(片山 隆會計部長)

## 平成20年度 いずみ会事業報告

いずみ会は規約及び20年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

### 第1. 総会の開催

平成20年10月26日(日) 母校の円形校舎1階にて開催した。

前半の総会は理事会による進行で、いずみ会の平成19年度事業報告・会計報告と平成20年度事業計画・収支予算報告が報告された。後半の懇親会は練馬区立勤労福祉会館で、「新8の会」の企画で「ぼちぼちパナリの8の会」をスローガンとし、「舞台は地球」それぞれの地球の歩き方」をテーマに、エベレスト山頂からの初の映像などが披露された。総勢250名の出席で盛り上がった。

### 第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ52号を平成20年10月1日に発行した。主な記事は次の通り。

- ・いずみ会早川淳新会長あいさつ、新役員の紹介
- ・平成20年度定時評議員会の報告
- ・平成19年度事業・収支決算報告書と平成20年度事業計画・予算
- ・会員情報(同期会情報など)・母校関連情報
- ・ホームページの刷新
- ・ホームページ・リニューアルに向けた計画、検討作業に入った。

### 第3. 会員情報の更なる整備

1. 会員の住所等の把握の為、期・幹事を集めた部会を1回開催し、会員情報の把握に努力した(10月の選挙騒ぎで勤労福祉会館が使えず秋の開催は中止した)。平成20年度の住所データの推移は以下のとおりとなった。

- ・会報が返送され、転居先等の住所不明者.....327名(送付数は17,000通)
- ・住所変更届け、期の幹事からの連絡などによる住所不明者.....793名
- ・61期の会員登録数(卒業生274名).....201名(3月31日)
- ・61期の住所等未登録数.....65名
- ・海外在住の会員へのはがきによる告知を行った.....70名(Eメールでの返信は11通)

### 第4. 将来に向けての運営体制の拡充

1. ホームページ・リニューアルに向けた取り組みを開始した。

今まで予算の関係で先送りしたこと、メンテナンス及び管理体制の不備で、掲載内容が古いま放置され、更新がスムーズにできなかった。

2. 人材バンク部の設立について  
人材バンクの会員活動内容の多様化、参加者の増大、母校への積極的な対応などに対処するため、担当理事を置いたが、さらに部に昇格して組織的な運営を行うことを検討している。

3. 会運営のIT化推進  
本年度は担当理事を置き、引き続き推進中である。

### 第5. 母校との連携

1. 母校支援として女子バレー部、キャリア教育、3年間皆勤賞、へ対応した。
2. 平成20年9月14日(日)・15日(月・祭)の文化祭に参加し、教室を借りて「新8の会」と共に「舞台は地球」それぞれの地球の歩き方」のテーマで、8期の野野正三氏、18期の賀賀利隆氏による映像を交えた講演会を開催し、交流を図った。
3. 平成21年3月12日卒業式予行日に、いずみ会入会式を挙行し、以下の行事に参列した。  
入学式・平成20年4月8日。体育祭・平成20年5月8日。卒業式・平成21年3月13日。
4. 校長先生はじめ母校職員、PTA関係者に働きかけ、入会金納入の促進に努めた。
5. 母校の中高一貫校の問題では、理事会あけてフォローした。

### 第6. 人材バンクの活性化

1. 母校1・2年生14クラスを対象に、キャリア教育・授業の講師の要請があり、3月19日、登録者の中から12名が講師として授業を行った。
2. 野外ウォークのまんば会は奇数月に開催。今年度は1泊旅行を2回企画し、7月の那須温泉は33名、1月の湯西川温泉は35名の参加者があった。合計6回行った。
3. 健康麻雀教室は第2・4金曜日にレディースデーを追加開催、需要の高まりに対応した。
4. 日本古典文学講座は本年1月より今昔物語に続き「平家物語」を毎月第4木曜日・開講。
5. 囲碁同好会は毎月第3水曜日・開催、引き続き順調に推移している。

### 第7. 財政管理

1. 平成20年度はほぼ収支均衡(7,000円の黒字)の予算の承認を頂いたが、会員皆様のご協力と各役員さんの努力もあって、663,585円の黒字になった。
2. 財政改善対策については、本年の入会金の大幅な減少と会費の減少が今後も続くと考えられ、中長期を見据え、特に収入の仕組みを変えることを含めた検討に着手した。

### 第8. 評議員会の開催

1. 定時評議員会を平成20年6月7日(土)に母校にて開催し、評議員94名が出席した。
2. 「平成19年度事業報告と収支決算」並びに「平成20年度事業計画と予算」が承認された。
3. 新役員を選出した。
4. 石井信三前会長を顧問に推薦した。

### 第9. その他の事業

- いずみ会の活動を推進するため、平成20年度の評議員会から平成21年度の評議員会までの間、次の事業を行った。
- 1. 理事会の開催。(11回開催)
- 2. 監査会の開催(中間監査と期末監査の2回開催)
- 3. 各期評議員の登録更新。

## 平成21年度 いずみ会事業計画

いずみ会は規約に沿って、平成21年度に次の事業を実施する。

### 第1. 総会の開催

平成21年10月25日(日)に開催する。前半は、いずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「新9の会」の企画・運営による懇親会を行う。

### 第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第53号を平成21年10月1日に発行予定とする。主たる記事は次のとおり。
  - ・平成20年度事業・会計報告と平成21年度事業計画・予算
  - ・いずみ会行事報告
  - ・会員情報(同期会情報等)
  - ・役員改選の公示
  - ・母校関連事項(特に中高一貫校発足...平成22年4月から・最新情報)
2. ホームページの充実
  - ・ホームページのリニューアル
  - ・メンテナンス及び管理体制の改善

### 第3. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、各期会員情報部幹事との会合を2回実施する。
2. 「高校62期」の名簿を作成し、62期の入会者に配布する。

### 第4. 将来に向けての運営体制の拡充

1. 近隣高校の同窓会との連携を強化し、母校教職員およびPTAとの繋がりを、更に深める。
2. 各校の事務局幹事の充実を図り、次世代へのスムーズな移行を目指す。

### 第5. 母校との連携

1. 母校の発展に寄与するため、キャリア教育その

決算上は黒字が続いているが、入会金、会費の減少、中高一貫校に移行すると卒業生が少なくなる等の条件で、現在の余剰金も底をつき、財政は厳しくなると考えられる。従っていずみ会事務局も努力しますが評議員の皆様にもご支援やお知恵を拝借したいと思います。

### 5. 9の会(安藤幹男会長)

9の会に課せられたことは文化祭・総会に参加することで既に3回会合を持ったがコンセプト及びスローガンはまだはっきり決まっていないうることはほぼ決まっています。文化祭には卒業生のアルバム写真の展示行う予定です。総会ではネパール女性教師指導者9期山下泰子さんの「ビデオ及び講演」を行います。

### 6. 菊地芳男校長先生(本会最高顧問)

以下のように会談中の質問・要望に対するお答えと報告をされました。

- 1) 中高一貫校の建築スケジュールは工事開始、平成22年夏。校舎完成、24年秋頃。グランド周り等のすべて完成は25年と予定している。
- 2) グランド関係で部活動に支障きたす部は野球、ラグビー、サッカーであるが、校地内に少しでもスペースを使用して練習できる場所を確保し、外の施設を使用する方法を考えている。
- 3) 現在の部活動の活躍状況は、陸上ハイジャンプ女子が関東大会出場決定し、水泳部は関東、全国大会へ行く可能性があります。

以上、議事・報告等が終了し、高津幸一副会長・開会の辞で定時評議員会が終了しました。この後、会費制の懇親会に移りました。

他の学校の諸活動や、文化部、運動部の諸活動に対する支援を積極的に進める。

### 2. 平成22年3月15日(月) 予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催する。

3. 平成21年9月12日～13日予定の母校文化祭に参加し、「新9の会」の協力を得て、いずみ会のPRをすると共に、在校生並びに保護者との交流を図る。

### 4. 新入会員の加入に際し各種の協力を依頼する。

5. 中高一貫校化に向けた学校の校内の整備への協力支援を行う。

### 第6. 人材バンクの活性化

1. 現在の「健康麻雀教室」「囲碁同好会」「日本古典文学講座」「まんば会」を継続推進する。
2. 本会会員提案の茶道教室を新たに開催する。多様化するニーズに対応する提案を期待したい。
3. 登録されたメンバーの整理と活用を、母校の要望をくみ取りながら、検討推進する。

### 第7. 財政管理

1. 年度の財政を改善するため、中長期にわたる収入の安定化を図る。(会費年額、終身会費制、入会金の金額、新会員の10年間会費免除等、収納手段の見直し、等)
2. 会費納入率向上対策、寄付金の増強策の検討。

### 第8. 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成21年6月6日(土)に母校にて開催する。

### 第9. その他の事項

1. 理事会の開催。
2. 監査会の開催。
3. 役員改選準備作業。
4. 各期評議員の登録更新作業

## 【高校61期評議員一覧】(敬称略)

駒 真由香、松元 賢次郎、岡田 拓樹、青木 達彦、金子 忠、菱倉 あゆみ、土子 のぞみ

### ◇評議員会出席者一覧◇

- 【中1期】春日孟、本村禮二、藤井宏、須賀功、水川俊彦 【高2期】稲村啓、武見健三、石川宣、小沢糖一、山本勲 【高3期】熊谷光恭、仙田陽一、山岡竹三郎、佐藤順之、諏訪好一郎 【高4期】加羽沢輝幸、静谷哲治、橋本宏、古田寛昭 【高5期】青山喜彦、石田要久、大澤登、嶋正彦、松坂清、長島慶子 【高6期】有田二郎、外巴淳子、豊嶋志郎、遠畑啓、西多英治 【高7期】本道操子、三島英雄 【高8期】片山隆、藤井元孝 【高9期】須藤一彦、清水信、安藤幹男、高木博明、大軒史子、淡弘子、田中誠哉、斉藤正一 【高10期】田島寛、保延義夫、野口悦子、藤田肇、鈴木京子、長島慶子 【高11期】富田順子、峯澤勝雄 【高12期】山川光夫、小野田敦子、荒井亮三、一条統一、根根有子 【高13期】早川淳、田中昇次、小松富貴子、国澤栄子、市川敬二、大高光蔵、笠原孝之、高津幸一 【高14期】杉山充、布施百合子、國谷俊之、三原寿太郎、大申康夫、増岡建吾、篠原庸雄、飯沢武士、高木登茂子 【高15期】中川徹夫、村上広 【高17期】中江和夫 【高18期】石田智秀、峯澤美名子、豊田哲也、安斎秀行、青木隆、馬場重夫、橋原猛夫、酒井君枝、酒井陽三、住永憲治、鈴木裕一、鈴木三枝子、前野幹夫 【高19期】伊藤銀二郎、内田彰、佐久間優行、松井恵美子 【高20期】菊池素子、荒井真理子、栗原正成、川口章子 【高22期】肥沼年光 【高24期】真柳仁、山川新 【高25期】松井泰徳、吉田寛、横山恵美子、會田幸子、木村了 【高28期】野島陽子 【高29期】齊藤俊夫 【高31期】原秀年 【高50期】植村直人

平成20年度 収支決算 (自平成20年4月1日～至平成21年3月31日)

平成21年度 収支予算 (自平成21年4月1日～至平成22年3月31日)

(収入の部)				単位：円
科目	平成20年度予算	平成20年度実績(A)	予算過不足((A)-予算)	備考
入会金	1,015,000	980,000	△35,000	
会費	2,862,000	2,729,000	△133,000	
寄付金	700,000	799,365	99,365	
総会参加費	450,000	701,000	251,000	
名簿関係収入	30,000	135,000	105,000	
雑収入	75,000	119,727	44,727	受取り利息、カンパ収入
合計	5,132,000	5,464,092	332,092	
前受金	3,700,000	2,746,000	△954,000	
前期繰越金	4,094,424	4,094,424	0	
総合計	12,926,424	12,304,516	△621,908	

(収入の部)				単位：円	
科目	平成20年度予算	平成20年度実績(A)	平成21年度予算	(B)予算-日0実績	備考
入会金	1,015,000	980,000	785,000	△195,000	
会費	2,862,000	2,729,000	2,725,000	△4,000	
寄付金	700,000	799,365	800,000	635	
総会参加費	450,000	701,000	600,000	△101,000	
名簿関係収入	30,000	135,000	60,000	△75,000	
雑収入	75,000	119,727	90,000	△29,727	
別途積立金戻入	0	0	500,000	500,000	一般会計分
合計	5,132,000	5,464,092	5,560,000	95,908	
前受金	3,700,000	2,746,000	2,800,000	54,000	
前期繰越金	4,094,424	4,094,424	4,758,009	663,585	
総合計	12,926,424	12,304,516	13,118,009	813,493	

(支出の部)				単位：円
科目	平成20年度予算	平成20年度実績(A)	予算残(予算-(A))	備考
総会関連費	560,000	788,608	△228,608	
役員・評議員会合費	360,000	364,878	△4,878	
監査役会費	10,000	8,000	2,000	
広報費	2,795,000	2,502,837	292,163	
会費関連費	115,000	82,529	32,471	
名簿関連費	120,000	107,696	12,304	
母校連絡費	50,000	31,296	18,704	
会員活性化費	100,000	38,893	61,107	
消耗品費	30,000	62,746	△32,746	
什器備品等	20,000	0	20,000	
いずみ会室関連費	840,000	792,968	47,032	
名簿積立金繰入	0	0	0	
業務委託費	0	0	0	
雑費	25,000	20,056	4,944	
予備費	100,000	0	100,000	
合計	5,125,000	4,800,507	324,493	
積立金繰入	3,700,000	2,746,000	954,000	
前受入金	1,000,000	760,000	240,000	
前受会費	2,700,000	1,986,000	714,000	
総合計	8,825,000	7,546,507	1,278,493	

(支出の部)				単位：円	
科目	平成20年度予算	平成20年度実績(A)	平成21年度予算	(B)予算-日0実績	備考
総会関連費	560,000	788,608	670,000	△118,608	
役員・評議員会合費	360,000	364,878	360,000	△4,878	
監査役会費	10,000	8,000	10,000	2,000	
広報費	2,795,000	2,502,837	3,215,000	712,163	
会費関連費	115,000	82,529	92,000	9,471	
名簿関連費	120,000	107,696	120,000	12,304	
母校連絡費	50,000	31,296	50,000	18,704	
会員活性化費	100,000	38,893	100,000	61,107	
消耗品費	30,000	62,746	30,000	△32,746	
什器備品等	20,000	0	0	0	
いずみ会室関連費	840,000	792,968	800,000	7,032	
名簿積立金繰入	0	0	0	0	
業務委託費	0	0	0	0	
雑費	25,000	20,056	20,000	△56	
予備費	100,000	0	90,000	90,000	
母校支援活動準備金繰入	0	0	0	0	一般会計分
合計	5,125,000	4,800,507	5,557,000	756,493	
積立金繰入	3,700,000	2,746,000	2,800,000	54,000	
総合計	8,825,000	7,546,507	8,357,000	810,493	

(収支の部)			単位：円
項目	平成20年度予算	平成20年度実績	備考
当期収入	5,132,000	5,464,092	
当期支出	5,125,000	4,800,507	
当期収支残	7,000	663,585	
前期繰越金	4,094,424	4,094,424	
期末剰余金	4,101,424	4,758,009	

(収支の部)			単位：円
項目	平成20年度実績	平成21年度予算	備考
当期収入	5,464,092	5,560,000	
当期支出	4,800,507	5,557,000	
当期収支残	663,585	3,000	
前期繰越金	4,094,424	4,758,009	
期末剰余金	4,758,009	4,761,009	

母校支援活動準備金収支

(収入の部)		単位：円	
科目	実績		
別途積立金より	1,000,000		
(支出の部)		単位：円	
科目	実績		
女子バスケットボール部・ボール 6個	45,600		
卒業生啓蒙費・図書カード (@3,000×7人)	21,000		
キャリアアガイダンス講師謝礼 (@4,500×5人)	22,500		
計	89,100		
収支残	910,900		

貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(資産)				(負債)			
科目	2008.3.31現在	2009.3.31現在	増減	科目	2008.3.31現在	2009.3.31現在	増減
定期預金	25,042,097	25,000,000	△42,097	前受入金	965,000	760,000	△205,000
普通預金	10,466,124	10,225,523	△240,601	前受会費	13,680,000	13,304,000	△376,000
振替口座	316,171	686,131	369,960	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現金	181,040	87,263	△93,777	負債合計	16,911,008	16,330,008	△581,000
合計	36,005,432	35,998,917	△6,515	正味財産			
				別途積立金	15,000,000	14,000,000	△1,000,000
				母校支援活動準備金		910,900	910,900
				期末剰余金	4,094,424	4,758,009	663,585
				正味財産計	19,094,424	19,668,909	574,485
				合計	36,005,432	35,998,917	△6,515
預金残高							
みずほ 荻窪	25,000,000	6,462,962					
三菱 荻窪	0	47,003					
三菱 橋本	0	0					
みずほ 橋本	0	0					
りそな 橋本	0	0					
郵政公社	1,003,194	686,131					
みずほ 沼袋	2,712,364						
合計	25,000,000	10,225,523	686,131				

附帯事項 別途積立金から戻入れ  
 ①「母校支援活動準備金」に、20年度支出分 89,100円を戻入れ、限度額を引き続いて100万円とする。  
 ②ホームページリニューアル費 50万円。(一般会計へ)

来年は役員改選の年です

現在の役員は、平成21年度末をもって任期満了となります。役員(任期2年)はいずみ会発展のため、理事会等の会合に出席し、事業を検討し、実行します。

現在、各期から選出された評議員をされている方、同期の方から推薦を受けている方が望ましく、また特に若い期の方からの立候補・推薦を宜しくお願いします。選挙要綱は次のとおりです。

1. 次期いずみ会役員を選任は来年度定時評議員会(平成22年5・6月中)において行います。
2. 各役員選挙に対する立候補届並びに推薦届の受付期間は、平成21年10月1日から平成22年2月1日迄です。
3. 立候補届・推薦届は下記の事項を明記して、第5項記載の送付先に郵送またはe-Mail(Word等で作成し添付する)・FAXで送信してください。(記載漏れがあると、無効となる場合がありますので、ご注意願います。)
4. 届の受理確認は、平成22年2月中にご連絡します。
5. 送付先 〒100-0006  
千代田区有楽町1-7-1有楽町電気ビル南館9階952号室  
高津法律事務所内 いずみ会選挙管理責任者高津幸一  
FAX: 03-3213-4857 e-Mail: takatsu-law@mx7.ttcn.ne.jp

《届出に明記する事項》

- ①立候補または推薦する役職名(会長、副会長、理事、監査役)
- ②立候補者または被推薦者ご本人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ③推薦届の場合は、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ④立候補または推薦の理由(200字以内)

なお、選挙に関する御相談・御質問は上記送付先の高津幸一(いずみ会副会長)までお気軽にお申し出下さい。

## 今年の体育祭(5月13日開催)を振り返って

応援団の練習は予想以上の厳しさでした。毎日何回も互いに怒鳴り合いの中で練習は続けました。その分、しだいにそれが形となって現れ始めたときの喜びは今も忘れられません。

そして迎えた本番では、とにかく全力で声を出しました。競技中の応援では、すべての生徒と一体になって応援することができました。

体育祭の後に残ったものは、汗と涙と達成感でした。つらい時、励ましてくれた仲間のお陰で、最後まで続けられました。このメンバーと出会い、体育祭を無事終えることができ本当に良かった！最高の出会い、最高の達成感と感動をありがとう！

団員それぞれが、わずか1ヶ月の間に大きく成長しました。これからも日々前進を続け、応援の声を届けます。今年度の体育祭を成功できたことを心から感謝します。

(応援団員一同)



## 野球観戦記

緑の八王子市民球場、西東京大会の一、二回戦を勝ちすすんだ大泉高校は三回戦で強豪日大二高と対戦。先攻の大泉は初回3点をもぎ取り、その裏二死満塁のピンチを三振で打ち取り、無失点！その時のピッチャーのガッツポーズに応援席のプラスバンド部、応援部、野球部員、同窓生の盛り上がりは最高！日大二高のベンチと応援席を一瞬シーンとさせたものでした。二回に同点となり、監督や選手全員が信頼する2枚看板のピッチャーにゲームを託しましたが、5回コールドで敗退。泣き崩れるピッチャーを選手らが支えてベンチに戻った。その後どうしたかなと気になりましたが、みな思い切り泣いて、「全員が信頼しあって試合ができた」喜びをかみしめ、みんな笑顔になったと聞いて「打ち込めてよかったね」と清々しい気持ちになりました。後日談ですが、日大のOBが大泉の応援ぶりを見て、すごい！すばらしい！と感心していたようです。水泳部の大会にも応援が行きました。高校生クラブ活動の集大成を応援文化部は観賞)に行くと新しい感動を得られるような気がします。大泉生みんながんばっています！（広報部）



## 茶道部の近況

茶道部は現在部員数、2年生5名と1年生2名の合わせて7名です。人数は少ないですが、先輩後輩の仲も良く、和気あいあいと活動しています。活動日は、毎週月曜日と木曜日の放課後で、月曜日には、外部から講師の先生に来てもらい、指導していただいています。1学期から夏休みにかけては、主に文化祭で開くお茶会に向けて、お点前のおけいこに励んでいます。また、春夏は風炉、秋冬は炉を使って、季節に合わせたお点前をしています。例えば、冬休みには初釜、春休みには桜を見ながらお点前をしています。（2年 塚原 菜那）



## 教職員人事異動

「転出・退職」		( )内は転出先等
地歴(日)	佐向 誠	(国分寺)
数 学	木村 直人	(板橋)
理科(生)	岩本 伸一	(退職 農芸高校非常勤)
保 体	山口 巖	(葛飾野)
情 報	田崎 文晴	(九段中等教育学校)
実習助手	工藤 千尋	(小金井北)
進 路	堀部 恭平	(退職)
「転入・採用」		( )内は前任校等
地歴(日)	藤田 健太郎	(茨城県立)
数 学	毛塚 敏夫	(両国)
理科(生)	高橋 正人	(昭和学院秀英)
保健体育	増子 良太	(新規採用)
情 報	山後 幸億	(田柄)
実習助手	水越 麻美	(小平)
進 路	手打 和明	(片倉)
中高一貫校開設準備室		
国 語	渡辺 昭夫	(久留米西)
数 学	鈴井 篤司	(広尾)

## 進路状況(浪人生を含む)

- 「国公立大学」  
 筑波1、埼玉6、千葉1、東京外語3、東京学芸4、東京芸術1、お茶の水1、一橋1、東京農工3、横浜国立1、静岡1、三重1、首都大学東京14、防衛大学校2、国立看護大学校2
- 「私立大学」  
 青山学院18、学習院8、慶応義塾9、芝浦工業19、上智8、成蹊15、成城3、専修12、中央35、津田塾1、東京女子4、東京電機13、東京農業25、東京理科26、東洋46、獨協9、日本36、日本女子6、文教8、法政40、武蔵27、明治65、明治学院7、明治薬科4、立教43、早稲田33、その他86

### 「就職」1

### 平成21年度の主な学校行事

- 4月7日.....入学式
- 5月13日.....体育祭
- 9月12日~13日.....文化祭
- 3月15日.....卒業式予行
- .....いずみ会入会式
- 3月16日.....卒業式

# そうなんだ！ わが母校の中高一貫校の全貌

## 新校舎の全貌 明らかに！ 総会でより詳しくお伝えします

### A. 校名は？

- 本校のような併設型中高一貫校では、「大泉高校附属中学校」の名前と、「大泉高校」の名前で進むものと思われます。

### B. 校歌・校章・制服はどうなるの？

- 現在の「校歌」、「校友の歌」はそのまま継承されます。
- 校章については、中学、高校が兼ねて使えるように、大泉の名前を入れた・桜のデザインを検討中とのこと。(新校名が確定すれば決定)
- 制服は決まりました。(下記参照) 高校男子は中学男子と同一デザインです。

### C. 校舎・校庭はどうなるの？

- 校舎は現校庭に新校舎を建てます。新校舎完成ののち現校舎跡地にグラウンドを作ります。(下図参照) こうすることで工期が早まり、新中高一貫校生は新しい校舎を使用して卒業できます。
- 中高一貫校の建築スケジュールは、平成22年夏に工事開始、平成24年度に校舎完成、平成24年度末にグラウンド周り等全て完成の予定です。なお、完成までは現在の校舎・体育

館をそのまま使用します。

### D. 校舎はどんな形？

- 校舎と体育館、プールなどから構成され、3階建ての校舎になります。近隣への日照や音、視線などに配慮されています。敷地周辺には植え込みのスペースが計画され、現在の桜や他の樹木の保存と、新しい植樹にも配慮がなされています。

### E. 桜並木はどうなるの？

- 桜並木は残します。5月に本校のすべての桜(110本)を樹木医に診てもらいました。虫食いなどで倒さなければならぬ樹も有りますが、残せるものは残して行きたいとのこと。

### F. グラウンドが使えない間、部活はどうなるの？

- 工事の間、部活に支障をきたす部は、野球、ラグビー、サッカーであるが、校地内に少しでも練習できる場所の確保と、外の施設を借用することを考えているとのこと。



中学冬服



中学夏服

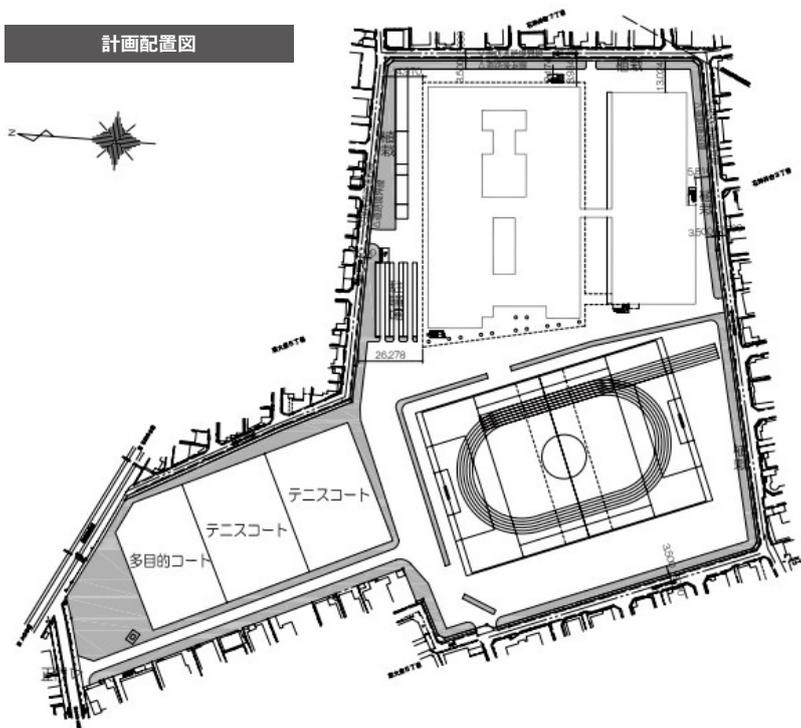


高校冬服  
(男子は中学と同一)



高校夏服

計画配置図



## 都立高校 同窓会の輪

昨年から、石神井高校さんの呼びかけで、同窓会同士の親睦と情報交換の会ができました。今年4月には石神井・西・井草・武蔵が丘・豊多摩・富士・立川・大泉の8校が参加。今年は大泉と井草さんが幹事校です。お互いの現状、課題などを出し合い、検討・意見交換をしております。今年10月には石神井高校さんの白馬・八方尾根にある黒菱山荘に集い、より繋がりを深めようという予定になっております。

# 恩師近況

## 土屋 光道

社会科 S27年～S37年

私は昭和27年～37年まで、27歳～37歳の10年間、社会科の教諭として一般社会・日本史を担当した。初めて大泉を訪れた時、まだ周囲に畑もあり、都立高校中一番広い運動場、それを取り巻く見事な桜花満開、空にヒバリが囀る環境がすごく嬉しかった。都心の浜松町→池袋→大泉と10年もかよい、10歳以上も若い生徒達と過ごしたあの青春が懐かしい。第8期と12期生を担当、卒業させた。終戦時私は17歳、彼等も7歳～3歳とて、敗戦後の未曾有の物心両面の激動期を過ごした世代。しかし戦後の自由な個人尊重の空気の中に、ホームルームも活発、皆で木造のボロ教室を大掃除、大学合格目指して頑張った。秋の学芸会や運動会、お金も物資も乏しい中、素晴らしく大きなマスコット、仮装行列、演劇。ラグビー、バレーも強かった。みんな好い子で、私の知る限り、イジメや不祥事が職員会議の話題に上がったことは皆無。先生方もよい方ばかり、大泉史上よき時代に巡り会った。去年古稀を迎えた8期生が同期会を催し百名近い諸君が集い、2ヵ月後に3C同級会が私の寺で開かれ、物故者の追悼会を行なった。350人中、男子30人、女子14人。担任7人中5人が亡くなったのは寂しいが、みな昔と変わらぬ好意で慕ってくれ、教師冥利を今に味わってます。



## 中村 格

国語科 S37年～S39年

大泉高校では17期生を送り出した後、全寮制秋川高・都立教育研究所を経て、昭和46年、東京学芸大に奉職。平成5年に定年退官の後、私立大に専任として12年勤め、平成17年、75歳で退職しました。通算51年間の教員生活でしたが、お蔭さまで、これといった病気もせず、馬齢を重ねてこの4月、80歳の大台に乗りました。退職後はご多分にもれず、好き勝手な本を乱読していましたが、やはりコアになるものが欲しくなり、最近は楠公伝説と天皇制教育の問題に関心を収斂させています。



ご存知のように、楠正成がわが子正行に後事を託して湊川決戦に臨む、いわゆる桜井訣別の物語は幕末以来、昭和の敗戦に至るまで、日本人の死生観にも大きく作用してきた「美談」ですが、それが明治以来の公教育でどのように教えられ、「忠君愛国」「滅私奉公」に利用されてきたか、その軌跡を私なりに確かめて見たい。その試論として「天皇制下の歴史教育と太平記一塗り直された正成像」「歴史唱歌の光と影—『桜井の訣別』を中心に—」など、いくつか発表してきましたが、今後も徐々に書き進めて纏め、できれば生涯のうちに上梓を、と考えています。尤も、意気込みだけで、「おけらの水渡り」に終わるかもしれませんが…。

## 山谷 敬之

保健体育 S36年～S57年

「ケニヤから、サンヤより」という拙文をいずみ会会報第14号に寄稿した。昭和42年、青年海外協力隊員としてケニヤに赴任中だった。2年後帰国し、昭和44年、会報15号に「行ってよかった…」を載せていただいた。この頃あだ名がサンヤからケニヤに変わった。

ケニヤは第二の故郷、里帰りをしたいと常々思っていた。実現できないまま、36年が過ぎた。定年退職後、平成17年6月、1ヵ月間のケニヤ行きに踏み切った。目的は教え子との再会であった。文通も途切れ、消息不明であった。

「アフリカには毒がある。毒が体に入った者は、またアフリカに帰ってくる」という。毒が36年かけて、利いてきた。アフリカ専門の旅行社の協力で、ケニヤの全国紙に教え子6名の名前を載せた尋ね人広告を出した。2名が旅行社の駐在員に連絡して来た。

キクユ族のG・カギヤとカレンジン族のM・チェブコに再会した。彼らも60歳を超えていたが、昔の面影はあった。彼らと一緒に、職場であったナショナルYSを訪れ、歓迎された。私が測量した400mのトラック、サッカー場がそのままの場所で、現在も使われていた。私の仕事が残っていた。ケニヤがケニヤに行った話して近況にしたい。



## 小山 晃三

英語科 S39年～S42年

私が大泉にお世話になった4年間は、よい先生方、よい生徒たち、よい環境に恵まれ、45年にわたる教師生活の中で、最高のものでした。特に、生徒たちは適度に学習し、適度にクラブ活動に励み、文武両道を実行していたように思います。3年の担任をしたとき、普通放課後の講習は学校・教師側の主導で行なわれるものですが、生徒側の主導でグループを作り講習をやってくれと頼まれたのは、後にも先にも大泉だけでした。運動会も文化祭もなかなか充実していましたし、臨海・榛名・修学旅行など挙げればきりがありません。そういえば、大泉には制服はなく標準服でしたが、生徒たちは標準服を着るべき時は全員が着ていたような気がします。

私は県立1校、都立4校、私立1校で教える機会に恵まれましたが、これらの学校の中で、私の子供を入れたい学校といわれれば、ちゅうちょなく大泉であると言えます。

67歳で、仕事を辞め、「サンデー毎日」の生活を始め、今まで仕事でできなかったことなどをして、日々を楽しんでいます。

皆さんもどうぞお元気でお過ごし下さい。



## 新クラブ誕生！いずみ会茶道教室 高7期 本道 操子

本年度4月にスタート致しました教室は現在、常時10名程で各方々に応じて勉強しています。

お菓子・お茶の頂き方、抹茶の点て方(部分げいこから)、後期には立礼(テーブルで)盆点前(盆を使う)も講習に入ります。



日本古来の茶の湯の席を、お気軽にのぞいて下さい。日常の忙しい生活も、習慣で良いのですが、お茶の世界も、ほんと！ひと時の時間を作って違った空間を味わって楽しみ下さいませ。

初めての方や他のお流儀の方も振って御参加いただきたく、美味しいお菓子も共々お待ちしております。

## 楽しく修練

高5期 矢吹 常久

今春からスタートしたいずみ会茶道教室に大泉高校5期のM君に誘われ、4月の第1回に次いで5月の母校での茶道教室にも参加し、今後も楽しみが膨らんでいくような気持ちです。久しぶりに校舎に入り、自分たちの時代の木造校舎は鉄筋のビルに変わり、建物にびっくり。伝統のクラブ活動も盛況で頼もしい限り。また、校門からの桜並木の木は大泉高校の



## 母校カルチャー教育

平成21年3月19日に1・2年生全クラス対象に、12人の同窓生によるカルチャー教育授業が行なわれました。キャリアガイダンスの一環として、先輩方から仕事の内容、志望の動機、どのような高校生活を送ったか…等が講義されました。

講師の表

高12期	相川 光夫	開発途上国への技術協力と国際交流の楽しみ
高15期	南雲 治嘉	夢は作るもの
高16期	最上 捷信	自信、経験、危機管理
高26期	大久保 晃	デザイナーの生活-今日からあなたもデザイナー
高28期	西澤 正博	自分を信じることから始めよう
高26期	會田 幸子	女性消防官としての私の生き方
高46期	青山 成道	インプットなくしてアウトプットなし
高26期	清水 義裕	日本のマンガ、アニメについて

# 友 遊

馬上に少年過ぎ  
世は平らかにし  
残軀は天の赦す  
楽しまずして如

伊達政宗

歴史をとどめるようで畏敬を覚えました。

茶道教室の指導は表千家の師範である7期のHさん。かつて茶道経験のある淑女達と事務局長のOさんを筆頭にお茶は初めての高年男性がお弟子さんであり、今は和気あいあい過ぎて多少お行儀に問題がないとはいえませんが、師範の姿などから、茶道の立ち居、振舞い…などの約束事や礼法は修練が詰まった一つの道であるように感じ始めています。次回が楽しみです。

## 健康麻雀教室

定例会は第1・3火曜日、レディース、初心者コースは第2・4金曜日に何れもいずみ会室にて、賑やかにゲームをしています。モットーは「飲まない、吸わない、賭けない」そして何をしておいても「たのしく！」遊ぶことです。

戦場ヶ原にて



## 人生の舞台(ステージ)は自分で創る

おーくん・あきら(高26期 大久保 晃)

私が今回のキャリア講座をお引き受けしたのは、私自身が自分のやりたい仕事に就き、本当に幸せな毎日を送っているからだ。人生で一番幸せなことは、お金を儲けることでもないし、贅沢な生活をするでもない。たくさんお金があっても結局生涯何もやりたいことが出来ない人もいる。自分の好きなことを見つけて、それを伸びのびと満喫出来る人生が本当の幸せだと思う。もちろん全ての人が自分の希望通りにはいかないけれど、自分の好きな世界に近づいていくことは可能だ。それは「やめない」こと、どんな

### て白髪多し 所 何せん 「酔余口号」

若き時世には華々しく社会への貢献を成し遂げた企業戦士も、今は現役を退いて、悠々自適の日を送っている。天から賜った身体にも老いの影が忍び寄り、頭も白くなったが、天はこの残軀を赦して下さる筈である。天神に甘える訳ではないが、限られた貴重な時間を楽しく過ごす事こそが後々に大きな悔いを残さない肝心事である。 嶋 正彦 (高5期) 麻雀日記より

### 囲碁を楽しむ会

毎月第3水曜日にいずみ会室において楽しんでいます。初心者のかたへも丁寧に指導いたしますので、一度覗いてみてください。終了後の一献も囲碁談義が弾みます。

### 部活を続けています(剣道部) 高5期 松岡 五郎

週4回の稽古に殆ど参加し、対外試合にもくつついて行った部活を続けています。現役部員と部活空間を共にするのが私の部活参加の前提だからです。

そして、市の剣道連盟、高齢剣友会、母校の月例会などの稽古も昨年退社したこともあって続けることが出来ています、むしろ部活の中で気になった事など質し度く出席率が高くなったかも知れません。

数ヶ月前、試合後泣いている部員がいたので、何故泣いているのか聞いた処、自分より格下の相手に負けたのが口惜しいと返ってきた。格下と何故思ったのか、口惜しさの対象が違わないか等気になる返事だった。稽古を通して成長するのが一番と思い、稽古を積んで格下に負けるな。とだけ云い。それからは稽古終礼時「今日の稽古は熱く出来たか、明日はもっと熱い稽古をしよう」と繰り返しています。



部員を指導する13期笠原さん(左)

サークル活動のお問い合わせは16ページに記載のいずみ会窓口まで。

### 古典に親しむ会

高9期大軒史子さんを講師に、1月から11月まで(8月お休み) 毎月第4木曜日、グランフォンテ集会所において、古典を楽しく知る講座を開いています。21年度は平家物語。講座を通して平家の世界のみならず、いろいろな歴史の形が見えてきてどんどん引き込まれます。途中参加も大歓迎。

### まんぼう会

奇数月に「一万歩」を目安に歩いています。行き先は嗜好を凝らし、毎回サプライズが！ 1月には湯西川に一泊し、雪の中の「かまくら」と「灯籠」の幻想的な世界を体験、7月には奥日光二泊合宿で湯滝～戦場ヶ原ハイクを堪能してきました。



奥日光にて



形でもいいから自分の行きたい方向へ歩き続けることだ。

自分の希望へ向かって歩いていると、とにかく色々なことがあるだろう。その時大切なのは「あたって挫(くじ)けろ」である。「あたって砕け」ではダメ、終わってしまう。今、若い人に一番大事で足りないのは「屈辱」を味わうことだ。若いときに大いに屈辱を味わい、悔しい思いをして欲しい。そういう気持ちを自分の体に染み込ませることで、人の痛みが解り、人にも優しくなれる。

私は高校時代、赤点ばかりの劣等性だった。でも夢は大きく、将来はデザイナーと学者になりたかった。その夢を叶えるため本当に積極的に動いた。多くの企業に作品を売り込みに行って散々無下にされながら仕事を増やしてデザイナーになり、美術系大学70校に次々に連絡を取り「私を教員として使ってください」と営業して現在の大学教員のポストを得たりと、普通では考えられない方法で、自分のやりたい仕事を掴んで来た。大泉の後輩は、お会いしてやっぱり素直な子が多かった。それを大切にして「やらない」後

悔ではなく、「やった」後悔をいっぱい持って欲しい。そして今の環境に不満を持っている人は、自分の行動を一度見つめ直して欲しい。自分が生きる舞台(ステージ)は、なかなか自分の思い通りにはならないものだ。大切なのは「どこで生きるか」ではなく「そこでどう生きるか」だ。後輩たちには自分で動いて手に入れた幸せな人生を創って欲しい。



声

☆先日、高1の時の仲良し3名と約20年ぶりに母校を訪問いたしました。大泉の校舎が全面的に建て替えられると知って、いてもたってもいられなくなったのです。1号棟グラウンド側、4号棟、体育館、プールは、私達の卒業前後に完成したもので、体育館、プール以外は短期間ながら実際に使用しましたので、全体に記憶の中の大泉の姿とそれほど違っていないませんでした。華道部

の活動場所の和室前のロッカーには、25年前の私達も確かに使っていた花器も収納されていました。☆大泉生はキョロキョロしながらはしゃぎまわっているオバサン達にもお行儀良くさわやかに「こんにちは～」と声をかけてくれました。そのキチンとした行動とは裏腹に、教室前の古い木製の傘立てにはボロ雑巾が無造作に引っ掛けられており、高校生の娘の母としては、一瞬眉間にしわを寄せたいところでした

が、その乱雑さが当時を髣髴させ、むしろ懐かしく、しばらく立ち止まって見つめてしまいました。☆普段母校を訪れる機会のない卒業生の皆様も、昔のままの大泉の姿を目に焼き付けに母校を訪れるのも良い思い出になるのではないのでしょうか。☆日ごろ、ご無沙汰の卒業生が母校と繋がってられるのも、いずみ会事務局の皆様が、日々ご尽力くださっているおかげだと感謝します。(高36期 今岡 裕子)

追悼

先生方のご冥福をお祈りいたします



略歴 岡部 守弘先生 平成20年 享年86歳 S22～S30 在職 音楽科

1年生でドイツ・リート、2年生の時にはイタリア歌曲を独唱するのが岡部先生の授業の課題でした。文字どおり音を楽しむ、充実した授業でした。文化祭では、先生のご指導による音楽部オペレッタに抱腹絶倒しました。また、都の高校合唱コンクールでは、混声部上位入賞の常連でした。

大泉を去られた後、都立駒場芸術高校、桐朋学園大学で、指揮法、ソルフェージュ等の指導者としてご活躍でしたが、大泉の卒業生との繋がりには途絶えることなく、1996年、先生の指揮のもと、大泉高校OB・OG合唱団が誕生しました。

6月20日「岡部先生を偲ぶ会」は合唱団が主催、第一部では先生ご自身が編曲された歌曲を含めた演奏が、第二部では懇親会が行なわれました。奥様、お嬢様、物理の岡崎先生をはじめ懐かしい顔が集まり、盛会でした。ご趣味の写真が、ご葬儀の式場でも偲ぶ会の会場でも飾られていました。

(高7期 免取 慎一郎)



略歴 塚谷 文子先生 平成21年6月8日没 享年84歳 S24～S58 在職 家庭科

淡い色のスーツに身を包み、微笑を絶やさない印象の先生でした。“家庭科！”と聞いただけでアレルギーが出そうに苦手意識を持つ女性徒の抵抗も何のその。上手に、しかもきっちりとしっかり意見をして下さる先生。「これはご自分でお縫いになりましたか？」と親に徹夜で手伝ってもらった衣服製作の細部も見事見破られました！大学入試に際しては「面接の様子など知っておいたほうが良いから」と先輩を紹介して下さいましたね。思えば、母のような眼差しで皆を見て下さったのでしょう。晩年に電話でお話させていだいた折、「地域の方々と、草花を植えたり、お散歩したり、のんびりと過ごしておりますよ」と、本当に

ゆったりした微笑が想像できるような優しいお声を懐かしく思い出しています。ありがとうございます。

(高20期 荒井真理子)

会員訃報 (敬称略)

期	現姓	旧姓	逝去
中1期	猪俣 麒一郎		平成21年4月10日
中1期	岡 和生		平成18年7月5日
中1期	櫻庭 幹雄		平成20年9月16日
中1期	名倉 光雄		平成20年7月
中2期	田中 公二		平成12年4月
中2期	永井 昭		平成20年9月16日
中2期	中島 一		平成19年9月6日
中3期	雨宮 暹		平成20年8月16日
高1期	奥谷 良一		平成20年2月21日
高1期	鈴木 一男		平成20年8月3日
高1期	大村 重雄		平成20年2月25日
高3期	片山 文人		平成20年9月5日
高3期	西山 宗之		平成20年5月14日
高4期	磯打 清		平成20年7月9日
高4期	小原 一益		平成20年
高4期	小林 英世		平成19年12月22日
高4期	中村 久夫		平成18年
高4期	生原 達希		平成20年8月23日
高5期	小山 伸		平成12年2月10日
高5期	権田 貞夫		平成20年5月18日
高6期	高橋 聡		平成21年8月5日
高7期	伊藤 敦夫		平成20年5月26日
高9期	市川 英雄		平成20年10月
高10期	中村 靖		平成20年10月18日
高10期	鶴月 宏明		平成18年8月
高10期	天野 久男		平成20年7月10日
高10期	馬場 英行		平成20年8月20日
高12期	深沢 治男		平成20年1月25日
高14期	隈崎 紘夫	中村	平成14年
高15期	滝本 英之		平成15年3月
高15期	原 浩二		平成19年10月30日
高16期	塚田 精一		平成21年4月3日
高17期	川和 美秀		平成20年2月29日
高17期	杉本 陽子	杉丸	平成14年2月
高17期	藤勝 周次		平成21年6月16日
高18期	陸田 信雄		平成20年5月
高18期	村沢 博人		平成21年6月26日
高19期	佐藤 彰子	菊池	平成19年
高19期	伏見 映子	長井	平成17年1月4日
高20期	江川 恵		
高20期	山口 道子	小野	平成20年2月
高21期	井上 恵美	稲垣	平成20年7月23日
高23期	有賀 悦子	色田	平成20年3月22日
高25期	柏原 啓二		平成21年8月
高26期	大福 浩二郎		平成21年5月26日
高26期	水井 哲之		平成21年8月23日
高28期	都筑 理世	田中	平成19年3月
高35期	引地 直樹		平成12年9月30日
高46期	相良 大輔		平成20年5月2日

# 同期会だより



高14期

## もう一度修学旅行

吉田 恒彦

14期をもじって名付けた世話人グループ「お人好しの会」ではなしが出たのは一昨年、面白そうだと幹事を引き受けた。今年2月8日、北海道、関東、静岡、関西から介護や仕事の都合で2日間は参加できない人もいたが、20名が京都駅に集まった。48年振りの顔は大泉時代の面影を残していて懐かしい。清水寺と周辺を散策してかすかに記憶を呼び覚ます旅館「御殿荘」に。明るい寛いだ広間で宴会。当時を再現して大部屋で二次会、布団にもぐり込んでからも遅くまで語り合いが続く。翌9日は平安神宮から金閣寺を経て橋本寒雪記念館「白沙村荘」へ。ここからが今回旅行のハイライト。庭園を見学後、幹事の一人田中(小野地)由紀さんのお嬢さんのご主人が金剛流能楽師宇高竜成氏というご縁からご夫妻をお招きし、おかみの心づくしの昼食をとりながら、能の話聴く。丁寧な説明と能楽師でもある春奈夫人の舞を見ながら能を堪能。口々に曰く“久し振りに高尚な気分になったネ”“教養が身についた”。その後東福寺を巡り京都駅で再会を期し約して散会した。当初、幹事は3人。計画の進捗に合わせて7人に。榎本美津恵さん、田中さんに始まり広報と募集は杉山充君、アイデア一杯の京巡りプランは建築家大倉達也君の力、“公認カメラマン”長谷正道君、派手な傘でガイドは福村正孝君。期待を上回る“大人の修学旅行”になった。

日動画廊からスタートしました。直に見る大作に圧倒されたり、常設展での大家の傑作に感心したり、勝手な批評を楽しんでいる内にお互いすぐ打ち解けました。文春画廊と、ギャラリーためながを廻って少々疲れて、カフェで休息。そこでの会話は、絵画に触発されて、演劇やらシャンソン、映画と大いに弾み、早くもクラス会本番のモードに突入しました。本番では、故堤先生への黙祷の後、近況報告等の後、ダーツ競技に夢中となりました。結構難しく、後は景品の交換風景で賑わいました。二次会は同じ“ダイニング”で、三次会は場所を移して行なわれ、皆、久しぶりに銀座の夜を堪能した次第です。



高19期

## 19期還暦同期会

内田 彰

暑い夏の終わりを感ぜさせる昨年9月6日(土)、第19期の還暦記念同期会が練馬高野台のホテルカデンツアにて開催されました。母校に近いとはいえ場所的にはやや不便さの感じられる会場でしたが、115名の同期生が参集いたしました。

思えば18歳で母校を慌ただしく離れた後、いつの間にか早や42年の歳月が流れてしまいましたが、久々に会う同期生の顔はそれぞれ歩いてきた人生の深さのなかに当時の面影も窺われ、あちこちで再会の喜びを分かち合っていました。

恩師の皆様も4名参加いただき、最長老の小川先生からは「還暦なんぞは洩垂れ小僧」というご発言があり、また田上先生のように年齢に近い先生はどちらが生徒か判らない、という状態になっていました。

会は約3時間の歓談のあと、同期生の伴奏による校歌、校友の歌で終了しましたが、去りがたい方も多く三々五々連れ合って適当な場所を求めて散っていきました。

しかしこの日を迎えることなく若くして人生を終わらなければならなかった同期生も18名おり、人生の節目を迎えられた我々は彼らの分も健康に生きていかなければ、と決意した次第です。

なお、本年の同窓会総会は9の期の担当となり、有志幹事によりその準備を行っています。手伝って頂ける方は是非とも19期有志幹事会(代表 旧7組佐久間優行氏)に連絡を。

また本年10月25日(日)の同窓会懇親会には是非とも多数参



高15期

## 「0次会とダーツ」

中川 徹夫

わが15期の同期会は、2年に1度幹事クラスを決めて行ないます。平成20年11月15日(土)は、会場が銀座松屋近くのダーツバー兼ダイニング、カラオケ有りというモダンな所で行なわれ大盛況でした。会場はF組の鬼澤君が決め、銀座という地の利を生かして“0次会”をやったら、という卓抜なアイデアを出したのが村上君でした。確かに有名ブランド店が軒を連ね、画廊はめじろ押し、築地市場も近い、とあっては“銀ブラ”しない手はありません。私の担当した“0次会”「画廊めぐり」をご紹介します。女性5名、男性2名計7名が参加、まず

加して頂き、言わば「拡大同期会」を成功させたいと思っております。とりわけ還暦同期会に参加できなかった方、当日お会いしようではありませんか!



力が入り、多数の同期生を集めることができた。その数108名。450名いた同期生の約4分の1が参加したことになる。また恩師は2名。英語の小山先生、物理の小田切先生がかけつけて下さった。今回は特に、世話役の女性の一人が、諜報部員顔負けの不明者探しを行い、10名を超える不明者を探し出すことができた。その中から数名が、42年振りに参加してくれた。42年振りといっても、そこは同期生。42年の隔たりが、あたかも無かったように盛り上がったのは言うまでもない。

会の2時間半の予定はあっという間に終わり、最後には校友の歌を声高々に歌い、1次会は終了した。しかし1次会で簡単に終わらないのが20期の同期会。2次会の居酒屋にも80余名が、そして3次会にも40名近くが参加し、祭りのような同期会はやっと散会となった。

20期は次回、5年後ではなくて4年後に同期会を計画している。更に次々回はその3年後、更に2年後、1年後と開催年を1年ずつ短くし、これから10年、次の節目、70歳古稀に向け、しぶとく生き続ける所存なり。

高20期

## 「ドレスコードは赤」

須藤 和由

2009年7月4日(土) 池袋のホテルメトロポリタンにて、ドレスコード‘赤’とした、20期の同期会が開かれた。20期は、今から20年前、40歳の時から5年毎に、あたかも定期健診のように同期会を開いてきた。今回は還暦年ということもあり、世話役一同いつも以上に



高10期

## みんな元気です!

幹事一同

2年ごとに開催している10期の同期会は、昨年10月18日(土)に中野サンプラザで80名近くが参加して盛大に行なわれました。卒業写真をプロジェクターで写し、50年前の自分探しで、大いに盛り上がりました。

以下の写真は、当日参加した参加者全員の現在の「顔」です。面影がありますでしょうか? 会に参加できなかった皆様。それぞれの顔を見て、50年前を思い出してください。そして、また次回、お目にかかりましょうね! 楽しみにしています。



お知らせ

☆高17期: 2010年に同期会を考えています。詳細決定次第お知らせします。楽しみにお待ちしております!

☆高40期: 40期は来春の同期会に参加していただける仲間を募集します。2010年3月27日(土)に開催予定!(場所未定) 恩師を囲んで全員が元気になる集まりにしたいです。参加希望の方は伊藤まで。090-3099-2793 nerimakuoiozumi@yahoo.co.jp

高40期

## 「つなぎ続けていきたい」山本(藤田)美和

本年3月25日。咲き始めの桜の中、昨年に引き続き高校40期の同期会が、母校の教室で開催されました。1次会は29名、勤労福祉会館「味三昧」での2次会には25名の参加。卒業して早21年。私たちは今年40歳を迎えます。まだまだ、子育てに仕事にと忙しい年代。「参加したかったけれど…」という近況メッセージが沢山寄せられました。昨年は3の1、3の7が中心で開催したそうなので、卒業以来という方も多かったようです。正門に集まったかつての友の顔も、最初こそ本当にわからなかったけれど、一緒に過ごした時間というのは絶対に忘れないんですね。段々と思い出します。古文の中田民雄先生、体育の寺本正誼先生、数学の宇田川修先生、恩師登場にあつという間に気分は高校生。恒例の心温まる感謝状が手渡されました。先生方の21年前と変わらぬ話しぶりに、気分は高揚。いよいよ今年、中高一貫校としての改築工事が始まるとのことで、懐かしい校舎も見納めと知りました。2次会3次会からの参加者もいていつまでも名残惜しい時間でしたが、明日からの力を得たひと時の再会でした。このご時勢にきっと様々な状況の中頑張っている友がいると思います。次は集えるよう、有志の皆でつなぎ続けていきたいです。2010年3月27日(土) 再会しましょう! 幹事の皆さん本当にありがとうございました。



高51期

## 10年後のタイムカプセル 荒川 陽子

2009年は、私達51期が卒業して、ちょうど十年にあたる記念の年。私にとっては、母校に残した思い出を掘り起こす、約束の年でした。その思い出とは、卒業直前に仲間と作った“タイムカプセル”。当時の先生に頼んで、いずみ会の倉庫に置かせてもらっていたのです。

たかが十年、されど十年。既に“アラサー”に近づいた私は、何を埋めたのか、すっかり忘れていました。そして3月28日。久しぶりに円形校舎に足を踏み入れ、高校生に戻った気分の私達が、カプセルの中に見たものは……自主公演した演劇の台本、合作した小説、お喋りを録音したテープ、謎の植物の種、五円玉。そんな他愛ないものに混じって発掘されたのが、各々が書いた青臭い言葉。それを読んで、恥ずかしさで悲鳴をあげる仲間達。でも正直、今の私には、その言葉を受け止める覚悟がありませんでした。懐かしさより、照れくさい。笑って読めるようになるだろ

う十年後くらい後に、またこの仲間と集まれたらいい。そんな風に思いながら、手紙をまた“封印”しました。長いようで短い。変わるようで変わらない——それが十年という歳月なのかも知れません。



高46期

## 初めての集い

青山 成道

ご存知の方も多いと思いますが、2008年12月30日、卒業してから14年ぶりに同期146人と再会しました。恩師の先生方にもお越しいただきました。土屋明彦先生、小保利男先生、間宮祐一先生、齋藤弘子先生、高橋由美先生、森田米子さん(あおせんのおばちゃん)。

会全体は、たった2時間で終わり、14年ぶりの再会にしてはあまりに短いものでしたが、それだけに大変盛り上がったと思います。また、二次会、三次会、四次会…と続いた、と聞いております。当日はモンゴル民謡を三枝さんに披露していただいたり、上原さんに大道芸の宣伝をしてもらったりと飛び入りの企画もありました。テーブルは三年次のクラスに分かれたのですが、そのうち入り乱れて会場は騒然とし、司会の私のマイクの声がかきけられるほどでした。特に退場は、名残惜しかったのか、なかなか進みませんでしたね。

結婚してママになった人たちも、この日ばかりは、子供を預けて来られました。高校時代というのは、本当に大切な思い出として時を超え、シングルモルトのように深みを帯びて会場にふりそそいだ、といった感じです。

思えば、2008年3月に同期会をやろう! と発起したときに、連絡がつく人たちは、最初の幹事3人合計しても139人程度でした。10回を超える打ち合わせで最終的には、327人と連絡がつくようになりました。実に全体数に対して、81.7%です。この連絡先と、同期会をみんなでやり遂げたことが、次回の同期会へのはずみになろうと思います。次回は2011年にやろうと思っております。今回来られなかった皆さんも、是非とも来てください。







## それぞれの“自主創造の大理想”を熱く語りませんか？

「校友の歌」にある「自主創造の大理想」という言葉をおぼえていますか？ それぞれの「自主創造の大理想」は何だったか、熱く語ってみませんか？ 今回は「9の会」が懇親会の企画運営を担当します。

とき 2009年10月25日(日)

ところ 定時総会：母校円形校舎1階

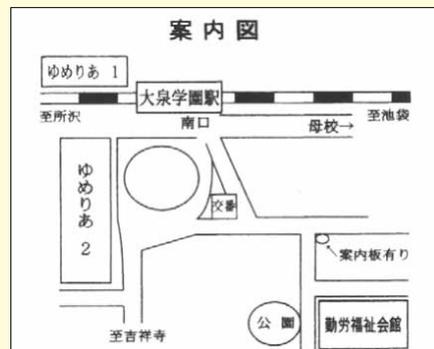
13時30分～15時00分(受付開始13時から)

懇親会：練馬区立勤労福祉会館

15時30分～17時30分

会費 3,000円(ただし56～61期は1,000円)

ご出欠(その他ご連絡)は同封のはがきで10月15日迄にご返送ください。



いずみ会会長 早川 淳 (高13期)

9の会会長 安藤 幹男 (高9期)

### 平成20年度いずみ会懇親会報告 新8の会会長 片山 隆(高8期)

昨年は、舞台は地球“それぞれの地球の歩き方”のテーマのもと、母校での総会のあと、総会場で、8期堅野正三氏の撮影になる「昭和45年植村直巳による日本最初のエベレスト登頂」映画を堅野氏の解説により見、懇親会は前年同様練馬区勤労福祉会館に移して開催しました。

懇親会場では、バイクで世界を走り回る18期賀曾利隆氏の姿を映像とインタビューで映し、また、その他世界を歩き回っておられる方々の写真をパネル9枚に展示して、紹介しました。

会は、有名銘柄を揃えたお酒と、ケータリング業者による多彩な料理と、石井前会長のご提供による飯能の地酒とに囲まれて、菊地校長のご参加も得、総勢239名、大いに盛り上がりました。

締めは、28期の有志による急造応援団とは思えない程鮮やかなリードのもと、校歌・校友の歌を斉唱しました。

そのあと、初めての試みとして、会場内に2次会の席を設け、飲み足りない人、グループでもっと話をしたい方々など大いに楽しんでいただき、有意義な一日を過ごしていただけたと思います。

「8の会」が結成されたのが、昨年2月中旬で、それまで殆ど面識のない者が集まったわけで、初めはとまどいもありましたが、一致団結して何とか役割を果たすことができました。半年に亘って準備をされた方々、また、当日、お手伝いくださった方々、それにご参加くださった大勢の方々

に感謝申し上げます。

今年も、いずみ会の発展のために、皆様のご協力によって、大いに盛り上げようではありませんか。

### 自主創造の大理想

9の会会長 安藤 幹男

今年の懇親会は卒業期に「9」のつく「9の会」が担当します。

主体になるのは19期生です。

まず総会の際、時間を頂き、9期生の山下泰子さんがネパールで女性の地位向上を目指し、女性教師を養成するための活動をしており、その様子をVTRで20分見ていただき、10分ほど簡単に話をしてもらうことになりました。同窓の女性が、海外で素晴らしい活動をしているのを皆さんに見ていただきたいと思います。

スローガンとしては大泉の基本に戻って、“自主創造の大理想”を掲げようと思います。この言葉は、大泉高校創設以来謳われ、幾多の大泉生によって培われてきたまさしく「伝統」であります。来年度、中高一貫校として新しいスタートを切る大泉。次の世代にもこの伝統を引き継いでいただくように、今回このテーマを選びました。懇親会の方は歓談を中心にと考えていますが、9期の有志がベートーベンの第九を歌おうかというような案も出ています。実現の際には皆様の飛び入りも大歓迎いたします。

昨年は「パチパチパチリ8の会」で、8期生が頑張って素晴らしい会になりました。昨年度会長の片山さん(8期)から今年も協力すると言って頂き心強く思っています。今年は「キューキュー苦しい9の会」

などにならないようにします。

また、母校の文化祭も担当することになり、今年は過去の「卒業アルバム」を展示することになりました。個人情報に関する懸念もありましたが、どうやらクリアできる見通しです。懇親会も同様に展示を予定しております。多くの方のご参加をお待ちいたします。

### 広告募集の検討開始!

いずみ会“会報”では、次回(来年度)の会報よりより見やすい会報づくりに向けて全面カラー化の実現など検討中です。また同時に会員の皆様からの「広告」を募集することを検討しています。内容、スペース、広告金額など具体的なことはこれから検討していきますが、是非皆様からのご意見をお待ちしております。

### いずみ会連絡窓口

ご意見やご感想、住所変更などは下記へご連絡をお願いします。

〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30  
SKビル305号

e-Mail: izumikai@v7.com

FAX: 03-3925-1486

総務・企画部長 國谷 俊之(高14期)

### 編集後記

★会報発行をはじめ、会の活動は皆様の会費納入と寄付に支えられています。ご協力感謝!そして、予算の都合で全部はカラーに出来ませんでした。来年もより良い会報を目指してがんばります。(高9期 須藤 一彦)